

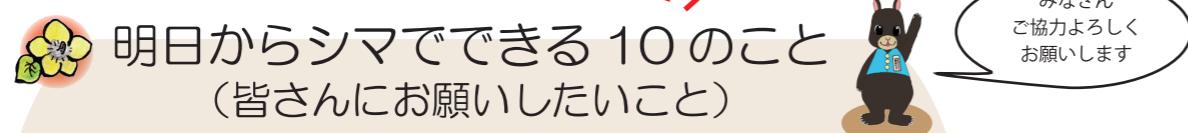
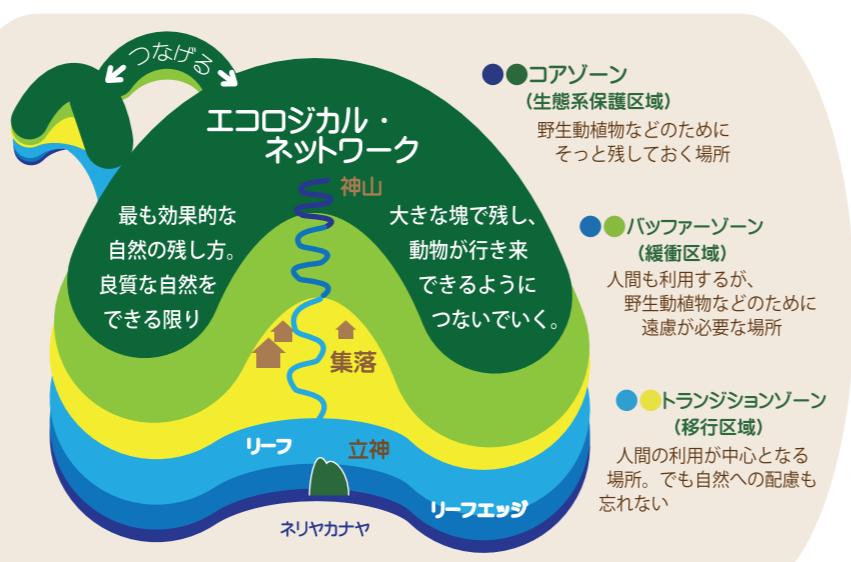


おさらいクイズの答え

1. の答え ③ 生態系
2. の答え ② 生態系サービス
3. の答え ② IUCN
4. の答え ① 限られた土地の使い方
5. の答え ③ エコロジカル・ネットワーク
6. の答え ① 生物多様性地域戦略
7. の答え ② 4ページを見る



7の答えちは
これのことね♪
なるほど！



1. 今日読んだ自然の話をまだ知らない誰かに伝えてください。
2. 猫などのペットはきちんと室内で飼いましょう。
3. ノラネコへの餌やりはやめましょう。
4. シマにある外来種のことを調べましょう。
5. 身近にある外来植物の駆除をしたり、駆除活動に参加しましょう。
6. 自然とともにシマの暮らしや文化を大事にしましょう。
7. 夜の道を車で走る時には、
生き物に配慮してゆっくり走りましょう。
8. シマに落ちているゴミや海岸漂着物などを拾いましょう。
9. 自然の恵みや怖さをご年配の方に教えてもらいましょう。
10. 自分のシマの土地利用をみんなで話し合いましょう。



コラム 奄美野生生物保護センター 祝・20周年!



2000年（平成12年）4月、環境省の直轄施設として大和村に設置・開所した奄美野生生物保護センターは、奄美群島の希少な野生生物に関する調査・研究、マンガースなど外来種の防除事業、センターでの展示や出前授業・自然観察会などを通じた普及啓発、平成29年3月に指定された国立公園の保護管理、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島世界自然遺産推薦地」の登録に向けた取り組みなどを総合的に行う拠点施設です。

おかげさまでこの4月で20周年を迎えることができました。今後さらに、地域のみなさまにも気軽に来館いただけるような施設を目指すとともに、普及啓発の推進や奄美群島全体の自然環境保全を行う拠点としての役割を果たしていくよう、より一層努めていきたいと思います。

*この春、20周年記念イベントの開催を予定しておりますので、ぜひご参加ください!!

編 集 後 記

ドイツのある町での話。そこでは市民の皆さんが「自分の町の土地利用」を計画する作業に熱心に参加していました。動植物の分布や自動車や人の流れ、洪水の頻発地域など様々な条件の地図を作り、それを1枚に重ね合わせて、どこに自然を残し、どこを利用するべきかを計画していたのです。いかに自然の恵みを受け続けることができるか？いつか島でもと夢見る黒豚でした。（黒豚編集長）

連絡先：環境省奄美群島国立公園管理事務所
電話：0997-55-8620

NEWS LETTER

奄美

シマの
自然と文化を

あまみエフエムより
友情出演♪



うがみんしょーらん！

あまみエフエムの渡陽子だりょっと♪

「むんぬうしりはてやねん！」というシマの諺に習って、

今日は自然のことを学びにおじゃましたー♪

今一度、奄美群島のなきやわきやシマぬ
自然をまーじんま考えてみませんかー♪見聞き保存版
だりょっと!!

白

自然環境は脆弱なため、

観光客など多くの方が特定の自然エリアを過剰利

用することにより、歩道の拡幅や植物の踏みつけ、野

生動物のロードキルや違法採集の増加など、オーバーツーリズムによる悪影響の

発生が懸念されています。

奄美大島では、夜間に動物観察のためにナイトツアーが行われ、特定の場所へ利用が集中し、野生動物の出没頻度の減少、様々な野生動物のロードキルの発生、利用者同士によるトラブルといった問題が発生しています。

そのため、本イベントでは、まず第一部のシンポジウムにおいて、国立環境研究所の久保雄広氏による講演及び関係者によるパネルディスカッションを行い、奄美の夜の自然と観光に関する魅力や課題について考え、課題解決の方向性について議論しました。シンポ

は、また第1部のシンポジウムにおいて、国立環境研究所の久保雄広氏による講演及び関係者によるパネルディスカッションを行い、奄美の夜の自然と観光に関する魅力や課題について考え、課題解決の方向性について議論しました。シンポ

は、また第1部のシンポジウムにおいて、国立環境研究所の久保雄広氏による講演及び関係者によるパネルディスカッションを行い、奄美の夜の自然と観光に関する魅力や課題について考え、課題解決の方向性について議論しました。シンポ

感動した！」「クロウサギだけでなくカエルなど小さな生き物のロードキルを起こさないようにする車の速度はこんなにもゆっくりなんだということを実感し、驚いた。」などの感想が聞かれました。

令和2年
2月1日

奄美大島の夜の自然と
観光シンポジウム&親子
観察会を開催しました！

8分で読める 暮らしと 自然のお話

自信のある方は
1~8を読まずに
3ページ下のおさらい
クイズにチャレンジ!



ひらんぱく
勉強して
ひさしぶりに
かんたん♪
8分で読めるち。



1 シマの自然はおもに5つの ものからできている！

水。空気。太陽。土。野生生物。

この5つだとご存じでしたか？

「自然を大切に」「自然破壊」「世界自然遺産」など。

いつも何気なく使っている「自然」という言葉。

それが絶妙なバランスでつながりあっていて、

それを「生態系」とも言います。

こちらも最近よく聞く言葉ですね。

どね
なるほど
なかつたけど
気にしたこと



2 生きるために必要な食べ物や くつろぐお家、何からできてる？

もとをとすれば、ぜんぶ自然から。

土、水、空気、太陽があって初めて美味しい作物が、
作物や草があって初めて家畜が。

家を作るための木だって同じ。

ミキに鶏飯、ワンフネ、油ソーメン。

シマの美味しい食べ物も、

それを保存するための高倉や家も
すべての土台は自然なんですね。



ぜんぶ自然ぢゃ、
たまがりー！



3 お金をかけぐためのお仕事も もれなく自然のおかげ

「働くざるもの食うべからず！」と言われます。
そこで食べるためにお仕事をしてお金をかけぐわけ
ですが、世界中のありとあらゆるお仕事も
もとをとすれば、ぜんぶ自然があってこそ。
衣食住を支えるための農林水産業はもとより、
道路や港などを作る建設業も、石油などのエネルギー
資源や鉄・アルミなどの天然資源があればこそ。
観光業もシマの美しい自然があればこそ。
つまり、私たちの暮らしは地球の限りある自然とい
う資源をどう長く賢く使わせてもらうかにかかって
いるわけですね。

4 外で遊べ！ 自然体験で 脳が良く発育する！？

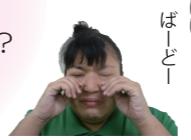
そうなんです。実は、脳の発育には刺激が必要。
その刺激がより多様でたくさんある「自然体験」が、
脳をよりよく発育させることができます。
あつい、さむい、いたい、やわらかい、きれい。
夕陽に星空。いろんな色や形の生き物たち。
シマの自然が、子どもたちの感受性、想像（創造）力、
自己防衛能力などを育んでくれるわけです。
ただし自然の中にはハブ・ハチ・ハゼノキなど
危険もいっぱい。危険から身を守る術も大人が教え
てあげましょう。誰かが見ていてくれることが、
さらに脳への刺激を高めることも知られています。

5 セレブもうらやむ 極上のシマ暮らし

お金に余裕があって、好きなものを買える人。
時間に余裕あって、好きなことをしている人。
うらやましく思ったりもしますね。
世界では、経済優先のために大量消費・廃棄を繰り返し、
自然を破壊し続けてきた結果、
温暖化により海面が上昇するなど、地球は異常気象を多発。
また、洪水を防ぐなど本来の自然が持つ災害防止機能が
損なわれ、生活に困る地域さえ出てきています。
それでもまだ私たちの島は、きれいな水や空気に恵まれ、
多様な生きものが暮らせる自然が残されています。
それは、環境に余裕がある証拠。
私たち島人が健康に生活できるという証拠。
最近「島で暮らせてうらやましい！」という
声をよく耳にします。

6 想像して…。もしもシマの 水や空気が汚染されたら？

イメージしてみてください。
もしも家の水道をひねっても赤茶色の飲めない
水しか出でこなかったら？
肺が痛くなるような汚れた空気だったら？
森の木が1本もなくなったら？
ゾッとしませんか？



7 どうして希少種保護や 外来種対策をするの？

奄美にしか生息・生育していない生きものを守ることは、
奄美の自然とその価値を守るため。
奄美にもともといななかった外来種の駆除などをするのは、
生き物を守るだけではなく、
島の人の健康や安全を守ったり、農林水産物を守るため。
生きものを守るのも、外来種の駆除をするのも、
どちらも奄美の自然と私たちの暮らしを
守ることにつながるのです。



うえだら
文多いど

ほんとかい？



8 この先もずっと自然に めぐまれた島にするためには？

土地の広さには限りがあります。まず自然を残すところ、
利用するところをみんなで考えてみませんか？

世界自然遺産を認定するユネスコは、
自然を残すところと利用するところを分ける
「MAB計画」を何十年も前に発表しました。

世界自然遺産にふさわしい場所かを調べるIUCNは、
一番効果的な自然の残し方である「エコロジカル・
ネットワーク」という方法を発表しています。

どちらも、自然の恵みを受け続けるための方法。

奄美大島の各市町村でも、自然の恵みを受け続けられる
土地利用や産業のあり方を計画する「生物多様性地域
戦略」が策定されています。

きれいな空気をいっぱい吸って、たくさんの
生き物がいる海や川や森でいっぱい遊べる。

そんな贅沢な暮らし、この先もずっと続くためには、
土地利用を考える必要があります。

まずは、ご年配の方々にお話を聞いてみてください。
シマの自然の恵みや楽しさ、こわさや強さも
知り尽したお話を、土地利用を考える

大きなヒントに
なるのでは。

なるほど！
早速シマに戻って
きてみよっ！



1、水、空気、太陽、土、野生生物のつながり・バランスのことを何というでしょう？

- ① 食物連鎖
- ② 環境系
- ③ 生態系

2、2ページで紹介した自然が私たちに無償で提供し続けているサービスを何というでしょう？

- ① 地球サービス
- ② 生態系サービス
- ③ 環境サービス

3、世界自然遺産の調査に来た団体の名前は？

- ① UFO
- ② IUCN
- ③ WHO

4、自然資源には限りがあります。自然を残すためにまず考えなければいけないことは？

- ① 限られた土地の使い方
- ② リサイクル
- ③ ゴミのポイ捨て

5、最も効果的な自然の残し方と言われている方法は？

- ① バイオ・ネットワーク
- ② ナチュラル・ネットワーク
- ③ エコロジカル・ネットワーク

6、奄美大島の5市町村で策定され、最近改訂された自然を残すために最も重要な計画は？

- ① 生物多様性地域戦略
- ② 地域振興計画
- ③ 景観計画

7、自然を残すために私たち一人一人にできることはなんでしょう？

- ① テレビを見る
- ② 4ページを見る
- ③ 手相を見る

おさらい クイズ



おさらい
じゃないと
7の問題は



まわ
さん
た？



3